



2018

直富商事株式会社

CSR報告書

NAOTOMI Corporate Social Responsibility Report 2018

トップメッセージ

昨年弊社は、産業廃棄物の中間処理をしている秋古工場内に新棟を建設し、選別ラインを設置しました。混合廃棄物を選別し、埋め立て処分する廃棄物の量を抑制・再資源化する事により、環境負荷の低減を図り、社会的役割を果たしてまいります。また、本社金属スクラップ工場内へは空き缶の選別圧縮設備を設置し、これまで以上に厳密且つ効率的に空き缶を資源化する事が出来るようになりました。リサイクルの優等生である金属を、資源の乏しい我が国の貴重な原料として、永続的に活用すべく、我々はその役割も果たしてまいります。

海外分野では中国において自動車リサイクル業の許認可を取得し、地元有力企業グループと合併でリサイクル会社を設立しました。中国国内で発生する廃棄自動車を適正に回収・解体し、主に資源としてリサイクルしてまいります。そして隣接する国の境を越え、日中友好を経済及び環境面からも支援してまいります。

ソフト面としてはまず、「健康づくりチャレンジ宣言」をしました。全国健康保険協会様と連携し、心身共に元気で健康な『健康企業』

を目指し、継続させ、我社で働く皆さんを健康面からも支援し、その責任を果たしてまいります。

経済産業省様からは「地域未来牽引企業」の認証をいただきました。長野県という地方の地域経済を、今後牽引する事が期待される地域の中核企業に選定された事となります。それに相応しい企業であり続けるよう我々社員一同気持ち新たに業務に励み、「Society5.0」実現に向け変革の牽引力となり、その施策を活用しつつ我々の業界並びに地域やコミュニティの生産性革命に繋げ、ますます我社の社会的責任を高度に果たしてまいりたいと考えております。

今後共、直富商事をどうぞよろしくお願いいたします。

直富商事株式会社
代表取締役

木下繁夫



経営ビジョン・ 長期経営計画

選択と集中戦略

事業分野の選択と集中
中国事業の拡大
長野県内シェアアップ

経営理念

- 地域に愛され、必要とされる会社とする。
- 社員が物心共に幸福と思える会社とする。

行動指針

- 安全・遵法第一、営業第二。
- 全てにおいて、常に顧客目線で考え、行動する。
- 責め心の無い厳しさ、馴れ合いでない優しさを持ち続ける。

差別化戦略

フルラインサービス提供力の向上
研究開発力の向上
コンプライアンス体制の確立
行政サービス民間移転の受け皿となる
顧客の課題解決提案力の向上

生産性向上戦略

機械化・情報化の進展による生産性の向上
ローコストオペレーション体制の構築
強靱な財務体質の維持

2020年度 売上高 **100億円**

お客様満足度 長野県 **No.1**を目指す

会社概要

社名 : 直富商事株式会社
本社所在地 : 〒381-0022
長野県長野市大豆島3397番地6
代表者 : 代表取締役 木下 繁夫
設立 : 1975年3月10日(創業 1948年)
資本金 : 45,000千円
売上高 : 99億62百万円
従業員数 : 544名(2019年2月末現在)

■編集方針

本報告書は、直富商事の全事業について掲載すると共に、環境及び社会的側面における活動実績を報告しています。

■報告対象期間

2018年3月1日～2019年2月28日
当レポートは、2018年度の活動を中心に報告しています。

■発行年月

2019年5月

■当レポートに関するお問い合わせ

直富商事株式会社 総務部
TEL : 026-222-1880 FAX : 026-222-1881
Mail : info@naotomi.co.jp

新事業

産業廃棄物中間処理施設 秋古工場の新選別棟・事務所棟が稼働を開始しました（2019.2）

1983年より約35年間稼働してまいりました弊社秋古工場は、2019年2月に選別棟の稼働を開始しました。これにより、高精度の選別が可能となり、今まで焼却や埋め立て処分されていた廃棄物のリサイクルが可能になりました。焼却する廃棄物の量を削減する事は最終処分場の延命や、CO₂削減にも繋がります。なお、荷下ろし場が2か所となり動線を見直した事により、渋滞が軽減され安全性と利便性が大幅に向上しました。



廃棄物受け入れ



粗選別（重機及び手選別）



機械式選別



振動と風力により、重量物（木・鉄くず等）・軽量物（プラ・紙類等）・細粒物に選別

手選別ライン



重量物

軽量物

細粒物

焼却処分

中国における自動車リサイクル事業の取り組み(2018.6)

中国吉林省長春市の地元有力企業グループである金達州集団と合併会社契約を締結し「吉林省環富新保資源再生利用有限公司」を2018年6月に設立しました。同社では長春市を中心とするエリアから発生する廃棄自動車の解体・リサイクルを行います。

弊社としては日本の最先端技術の導入・サポートを行うと共に現場管理者1名を派遣しています。工場及び事務所は、2019年4月中旬稼働開始予定です(2019年3月末現在)。

なお弊社は、2004年に中国河北省石家庄市贊皇県孤山村に“直富希望小学校”を寄贈する等、長年にわたり中国との関係を構築しており、これからも様々な活動を通し、日中友好に貢献していきます。

中国の自動車販売台数年間 **2,800万台**以上



中国長春市の自動車保有数112万台／新車登録台数年間 **16万台**



合併会社では年間 **5万台**の解体を目標



廃車率は日本の6%に対して中国は2%であり、
今後の発生増加が見込まれます



自動車解体工場(2019年3月末現在)

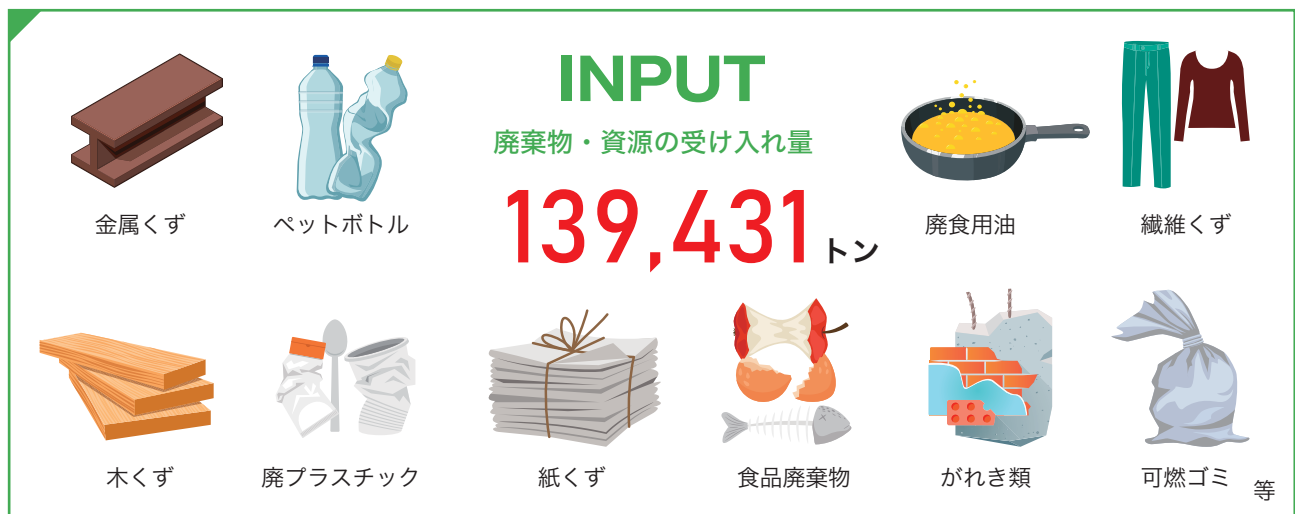


ガソリン・オイル・冷却水等を回収する装置



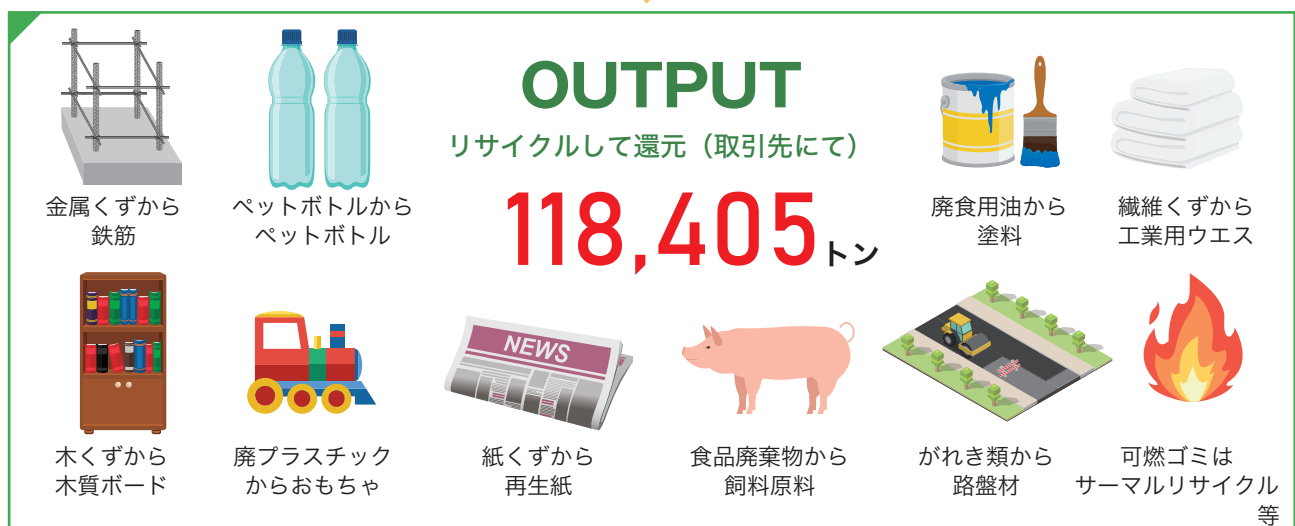
工場内部

廃棄物取り扱い実績



直富商事

焼却・破碎・切断・選別・圧縮・結束・熔融固化・
油水分離・エステル化・乾燥・堆肥化 等



【集計：2018年3月～2019年2月】

サービス

弊社は、廃棄物・資源物の収集運搬処分及びリサイクル、ビルメンテナンス、解体工事、車両解体、廃棄物処理に関する技術研究等を行う総合環境企業です。
次世代を担う人々が安心して暮らせる環境を維持し、限りある資源を守る事が我々の使命であると考え、『全ての廃棄物を再資源化』する社会を目指します。

一般廃棄物 ～地域で不要となったものを回収します～

事業系一般廃棄物、家庭の引越しゴミ・粗大ゴミの回収等を行っています。ゴミ回収は、環境の維持に欠かせない仕事です。弊社ドライバーは、回収に向う際は笑顔で挨拶し回収後の後始末まで丁寧なサービスを心掛けており、お客様から好評をいただいています。会社のイメージアップに貢献したドライバーへの表彰や、明るい朝礼の実施により、さらなるモチベーションアップとサービス向上を図っています。

2018年度は、収集車両等にドライブレコーダーを搭載しました。これにより、ドライバーの安全意識の向上はもちろんの事、運転マナーの向上にも繋がっています。また、市民サービスとして長野市内のソファ・マットレスの受け入れを行っています。長野市資源再生センターへの持込み可能日が限定されている中、地元の要望に応じて弊社で受け入れが可能となった事により、市民の利便性が大幅に向上しました。



環境部で日課の朝の見送り。今日も一日安全第一！

回収は、後始末まで丁寧なサービスを心掛けます。



金属スクラップ

社会が高度化するにつれ、金属資源はますます重要になっています。弊社は金属スクラップを回収・加工し、電気炉メーカー等へ納入します。選別の強化によりリサイクル率及び品質アップを図っています。

古紙・機密書類

不要になった紙を安易に捨てると、貴重な森林の浪費に繋がります。古紙は国内で発生する貴重な資源です。弊社は古紙類・機密書類の収集及びリサイクルを行い、環境保全に努めています。

産業廃棄物

産業廃棄物の収集運搬及び中間処理を行います。リサイクル可能品目は中間処理後に再生利用します。高精度な選別を行う事で埋め立てる廃棄物を減らし、地球環境保全に貢献しています。

食品廃棄物

ホテル、スーパー、コンビニ等から毎日排出される食品廃棄物を、乾燥・堆肥化し、飼料原料等として出荷します。「もったいない」の声に応え、食品を循環の輪で繋げます。

古着

回収された古着は選別して、東南アジア中心に出荷します。日本の古着は質が良く、リユースには最適です。古着の基準に満たないものも、工業用ウエス等にリサイクルしています。

ビルメンテナンス

ビル等、建物の設備管理、クリーニング等の清掃業務を行います。地域の皆様が住み良い、働き易い環境を整える為に、日々環境美化を行っています。

解体工事

ビル・工場・家屋等の建物の解体工事を行います。解体現場から出た金属・木材・コンクリート等は資源としてリサイクルしています。

技術研究・開発

環境分野におけるリサイクルを中心とした研究開発、環境計量証明及び廃棄物の性状分析を行います。日々高度化する社会、将来的にリサイクルが必至とされるもののリサイクル方法を生み出そうと日々研究に打ち込んでいます。

2018トピックス

創業70周年記念講演会を開催しました(2018.11)



創業70周年を迎える事が出来た感謝をお客様にお伝えする為に記念講演会を開催しました。約500名のお客様をお招きし、盛大に開催出来た事、社員一同心から感謝しております。第一部ではバイオリニスト牧美花様によるバイオリン演奏で美しい音色に癒されました。第二部では大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 兼 CEO 樋口武男様に講演していただきました。

経済産業省 地域未来牽引企業に選定されました(2018.12)



地域経済牽引事業の担い手となる地域の中核企業として、経済産業省『地域未来牽引企業』に選定されました。

『地域未来牽引企業』とは、地域の特性を活かした付加価値の創出と、地域の事業者等に対する波及効果及び、地域経済を牽引する事業の積極的且つ継続的な展開が期待される企業に対して選定されるものです。

女性事務職員の制服を リニューアルしました(2018.6)

女性社員からの制服変更の要望を受け、“動き易さと機能性アップ”を目的に夏服・冬服共にリニューアルしました。女性らしい上品さ、動き易さ、着心地の良さを重視したデザインとなりました。



市場事業所にペットボトルラベル除去機を設置しました(2018.3)

ペットボトル圧縮結束の前処理として、従来よりキャップ外し及び脱液装置を使用していましたが、さらなる付加価値向上の為にラベル除去機を設置しました。



ラベル除去後のペットボトル



ミスト噴霧設備を設置しました(2018.3)

社員の働く環境を改善する為に、本社工場内で発生するホコリを排除するミスト噴霧設備を設置しました。現場で働く社員の健康被害を防ぐ事が一番の目的ですが、ミスト噴霧により近隣への粉塵飛散の防止や工場内のクリーン化といった環境面も改善出来ました。



空き缶選別プレス機を設置しました(2018.12)

本社工場に、空き缶からアルミ缶を選別し、プレスする空き缶選別プレス機を設置しました。工程が完全に自動化され、作業環境の改善と省人化が図られました。



研究開発

秋古工場焼却施設の余熱利用

環境省が募集した「2018年度廃棄物焼却施設の余熱等を利用した地域低炭素化モデル事業(調査事業)」に応募し2018年11月に採択されました。秋古工場の廃棄物焼却施設から発生している余熱でバイオマスを乾燥し、燃料として供給する事の事業可能性を調査しています。

リサイクル分野への近赤外線装置の活用

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団の産業廃棄物処理助成事業に採択され、近赤外線装置を活用した2つのリサイクル技術研究を行いました。

- 廃電線ケーブルから銅を回収する際に発生する被覆材の材質判別技術の開発
- 食品系廃棄物の飼料化等の乾燥工程で重要な含水率を安価で迅速に測定出来る技術の開発

環境

環境方針 基本理念

弊社は循環型社会の担い手として、“安全はすべてに優先する”、“美と心地よさを残す”の企業理念に基づき、人間の社会活動と地球環境の保全との調和に貢献することを目指すと共に、自らが及ぼす環境への負荷を軽減し、もって地域住民との協調を図ります。

弊社の事業活動が環境に与える影響を考慮し次の項目を重点事項として取り組みます。

- ①お客様の環境負荷の低減の為にあらゆる廃棄物の再資源化に取り組み、循環型社会の形成に寄与します。
- ②省資源・省エネルギーを推進します。
- ③大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の環境に与える影響を低減し、環境汚染の防止を図ります。
- ④花と緑に囲まれた工場を創造・維持し、地域環境との調和を図ります。

環境マネジメントシステム

環境保全に貢献する為、2001年にISO14001を取得し、環境マネジメントシステムに取り組んでいます。

2018年度はISO14001 2015年度版への移行を完了しました。引き続きエネルギーの効率的運用、廃棄物の再資源化、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。



2018年度環境保全目標と実績

《2018年度活動実績と2019年度事業計画(抜粋)》

活動項目	2018年度		達成度	2019年度目標
	目標	実績		
雑古紙から新聞分別によるリサイクル率アップ	120t／年	131t／年	◎	新聞紙 140t／年
騒音レベル 67dB以下又はクレームゼロ	クレーム 0件	クレーム 0件	◎	クレーム 0件
振動レベル 70dB以下又はクレームゼロ	クレーム 0件	クレーム 0件	◎	クレーム 0件

環境負荷低減の取り組み

工場における環境保全対策として、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の項目を定期的に測定し、環境へ及ぼす影響を把握する事で、適正管理を行っています。

測定の結果、全て基準(法令・自主)を遵守しています。

周辺住民の方や従業員への健康被害を及ぼす事の無いよう徹底管理しています。

▶ 環境汚染・水質汚濁・騒音等の防止対策と各種環境データ

排ガス関係（ばい煙発生施設）

測定項目名【単位】	排出基準	秋古工場廃棄物焼却炉	排出基準	苦桃工場蒸気ボイラー
		2018年3月27日（ダイオキシン類は同年3月2日）		2018年7月17日
ばいじん量酸素補正值【g/m ³ 】	0.25	< 0.002	0.3	0.001
硫黄酸化物排出量【m ³ /h】	4.9	< 0.1	1.7	0.13
窒素酸化物量酸素濃度【cm ³ /m ³ 】	なし	49	260	69
塩化水素量酸素補正值【mg/m ³ 】	700	28		
ダイオキシン類【ng-TEQ/m ³ 】	10	0.074		
臭気指数	法的基準なし	14		

工場敷地境界・周辺の臭気測定結果

測定項目名【単位】	基準	苦桃工場風下周辺環境 2018年7月17日	東御営業所風下敷地境界 2019年2月12日
臭気指数	法的基準なし	< 10	—
スチレン【ppm】	0.8	—	< 0.03

排水水質測定結果

測定項目名 【単位：mg/ℓ（pHは無単位）】	基準	本社工場北側 2018年12月12日	本社工場南側 2018年12月12日	秋古工場 2019年2月1日	市場事業所 2018年7月18日	苦桃工場 2018年10月10日	東御営業所 2019年2月12日
水素イオン濃度（pH）	5.8～8.6	6.6	6.5	6.4	6.8	7.0	7.1
生物化学的酸素要求量（BOD）	160	0.9	15	0.8	2.6	3.4	-
浮遊物質（SS）	200	<1	9	4	<1	6	2
ノルマルヘキサン抽出物（鉱油類）	5	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ノルマルヘキサン抽出物（動植物油脂類）	30	<1.0	1.7	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
カドミウム	0.03	-	-	<0.005	-	-	-
シアン	1	-	-	<0.01	-	-	-
鉛	0.1	-	-	<0.05	-	-	-
六価クロム	0.5	-	-	<0.02	-	-	-
ひ素	0.1	-	-	<0.002	-	-	-
水銀	0.005	-	-	<0.0005	-	-	-
1,1,1-トリクロロエタン	3	-	-	<0.0005	-	-	-
トリクロロエチレン	0.1	-	-	<0.002	-	-	-
テトラクロロエチレン	0.1	-	-	<0.0005	-	-	-
ほう素	10	-	-	0.2	-	-	-
ふっ素	8	-	-	0.42	-	-	-
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100	-	-	2.7	-	1.2	-

工場敷地境界・周辺の騒音・振動測定結果

測定項目名【単位】	工場・営業所	本社工場				秋古工場				苦桃工場				東御営業所				市場事業所			
	測定日	2019年2月18日				2019年2月20日				2018年4月13日				2019年2月12日				2019年2月20日			
	基準	自主基準： 等価騒音 67、 最大振動 70				騒音環境基準：60 振動保全目標：65				自主基準：騒音 65				規制基準： 騒音 70、振動 70				規制基準： 騒音 70、振動 70			
	測定地点	東	南	西	北	工場周辺				東	西	南	北	南東	北東	北西		敷地境界			
騒音【dB（A）】		63	48	54	58	54				60	52	64	47	61	57	61		69			
振動【dB】		58	38	42	60	<30				-	-	-	-	34	<30	42		34			

コンプライアンス

基本方針

1. 経営理念を具現化する為に、社員への遵法・環境教育を充実させ、教育内容の周知徹底及び浸透を図る
2. 廃棄物処理法違反を起こさない

遵法報告

2018年度、
行政処分、行政指導は
ありませんでした

弊社に所属する社員が、法令を遵守し高い倫理観を持って日々の業務にあたるよう、社内にコンプライアンス室を設置し、定期的な勉強会の開催や改正された法令の周知徹底を図っています。廃棄物に携わる業者として、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の遵守は不可欠です。弊社では設備の点検記録・マニフェストの置き場管理等の「社内独自ルール」の設置及び「内部監査制度」を活用し、違反を未然に防止する対策を講じています。

コンプライアンスの取り組み

廃棄物の知識を深める



理解度テスト 問題例

下記選択肢より、「廃棄物に該当するか否か」を総合的に判断する際の判断要素に該当する番号を5つ選んで回答してください。

【選択肢】

- ①発生量の多少 ②物の性状 ③排出先の業種 ④所有者の意思
⑤排出までに要した期間 ⑥取引価値の有無
⑦通常の取扱い形態 ⑧排出の状況
※正解＝下線部

遵法勉強会

廃棄物に関する法律の知識を深める為、毎月コンプライアンス室主催の「遵法勉強会」を開催しています。

理解度テスト

勉強会の内容が理解出来ているか確認する為、勉強会の最後に理解度テストを実施しています。

理解度テストを実施する事で聞いているだけの受け身で無く、積極的に学ぶ姿勢を育みます。

コンプラHOT LINE

2018年5月より、法律違反や不正行為等のコンプライアンス問題の発生やその危険性を感じた社員が、社外に設置した通報窓口へ直接通報出来る仕組みを取り入れました。会社や社員が、違反している(しようとしている)、ハラスメントを受けた(目撃した)といった、社内では告発をし難い事項を通報する事が出来ます。通報した社員のプライバシーを守る為、希望により匿名性が担保されます。

ハラスメントを目撃!! 違反しようとしている!

通報

社外通報窓口である弁護士へ相談

報告

管理本部長を責任者とした調査を実施。不正が明らかになった場合は是正措置を講じ、当該行為者に対して処分を課す。

社員意識調査

社内における課題を把握し、円滑な職場環境を創造する為、仕事の満足度・人間関係・将来性についての社内アンケートを実施しました。回答の集計及び分析は外部専門機関へ依頼し、調査結果をもとに専門家による幹部社員研修を行いました。アンケート結果を今後活かす事で従業員満足度を高め、良好な人間関係に繋がります。

産業廃棄物処理検定

(公社)全国産業資源循環連合会主催の「産業廃棄物処理検定(廃棄物処理法基礎)」に、今年度は12名が合格しました。試験範囲は、[廃棄物の種類・排出事業者責任・委託契約・マニフェスト・帳簿保管基準・処理基準等に関する法令の基礎]です。この検定に合格すると合格証明書が発行され、お客様からの要望に対して、より効果的且つ的確なご提案をする事が出来る知識を身に着けた人材である事の証明となります。

マネジメント

リスク管理

様々なリスクを想定した対策を講じています。



地下貯水槽に溜まった雨水を
ポンプで汲み上げ油水分離槽へ



モバイル通信機器
ボタンを押すと警備会社が出動



防犯カメラの設置により、社員の安心・
安全を確保

自然災害によるリスク

- 防災訓練(事業所毎に実施)
- 地下貯水槽と油水分離槽による
油漏洩防止対策(雨水対応)

人的リスク

- インフルエンザの集団感染を予防
する為、任意で予防接種の実施
- 単独作業時、モバイル通報機器を
身に付け、緊急事態に即時対応

その他のリスク

- 個人情報取扱規程の制定、遵守
- 防犯の観点から、全社へカメラの
設置

内部監査

近年、企業の不正や不祥事が社会問題となり、ガバナンス強化が
叫ばれていることから、弊社の行動指針である「安全・遵法第一」
を目的として2018年度より内部監査制度を導入しました。

情報管理 ISO27001

本社(廃OA機器・廃機密書類)の範囲でISO27001(情報セキュ
リティマネジメントシステム)を取得し、機密情報が含まれる廃
棄物の処理をお客様に安心してお任せいただいています。



本社(廃OA機器・廃機密書類)



人材育成

社員のモチベーションアップ及び
スキルアップに繋がる、様々な制
度を取り入れています。



社長へ会社に関わる
提案や要望が出来る
機会

安全衛生の取り組み

基本方針

- ・ 事故を起こさない、社員にケガをさせない
- ・ 安全衛生活動のレベルアップ

弊社では、「安全第一」を行動指針の第一に掲げています。

安全衛生の取り組み

2018年度安全衛生スローガン

見たつもり やったつもりが事故の元 再確認で安全作業

をスローガンに掲げ、毎日の朝礼で唱和する事で、安全意識の向上を図っています。

ドライブレコーダーの活用



収集車両、営業車両等の社用車にドライブレコーダーを搭載し、事故防止に努めています。ドライバーの運転を管理し、自身の運転特性を把握する事で、安全運転を意識する事に繋がります。また、万が一事故を起こしてしまった場合に、レコーダーの記録をもとに原因を分析し、今後の対策に繋がります。

※カメラ型 搭載実績：191台

※走行記録型 搭載実績：90台（2019年2月末現在）

シートベルト着用チェック

社員の通勤時のシートベルト着用チェック（運転中の携帯電話使用も併せて）を実施しました。年4回（720名対象）実施し、98%の着用率でした。常に100%となるよう、社員の意識向上に努めます。

ドライバー添乗指導

ドライバーの技術向上と安全意識を高める事を目的として、安全管理者が収集運搬車両に同乗し、運転・業務・5Sの指導を行っています。

安全教育

安全大会、防災訓練、石綿作業教育、刈払機取扱い教育、アーク溶接教育等、様々な安全教育の場を設け、社員一人ひとりの安全の意識向上を目指しています。



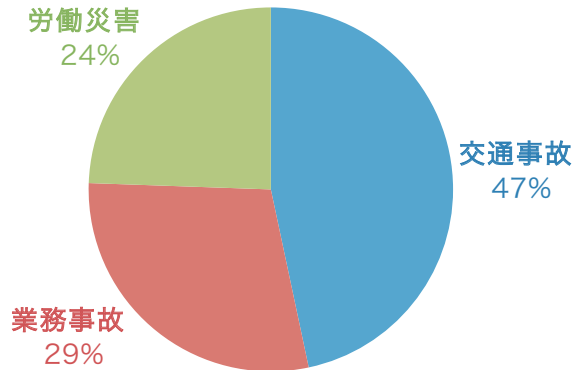
安全教育（左：感電の体験／右：吊り具使用の体験）



安全大会

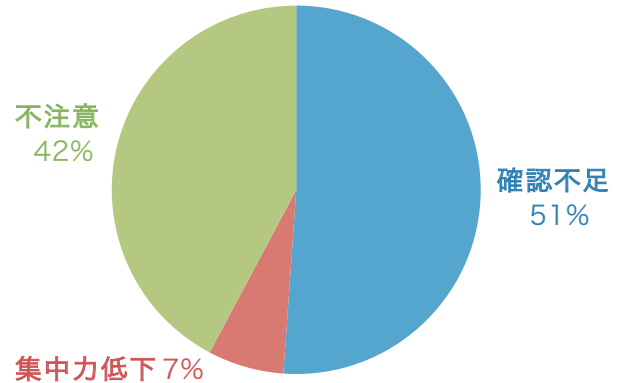
事故発生報告

事故内容



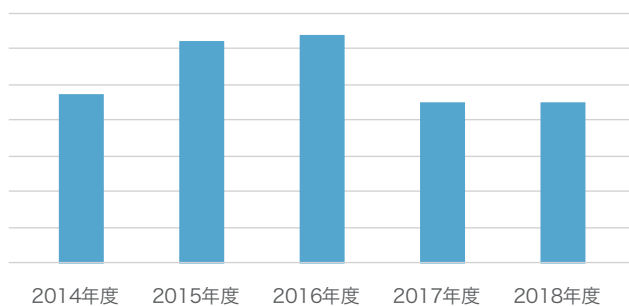
交通事故が最も多く全体の47%を占め、そのうちバック事故が半数以上を占める

事故原因



確認不足（もう少し注意していれば避ける事が出来たと思われる事故）が半数以上を占める

年度別事故発生推移（過去5年間）



一時は事故が増加したが、直近2年は減少し、それを維持している。

対策

- ①事故防止に対する自覚・認識の向上及び危険感受性の向上
【教育実施内容】
 - 事故に繋がる人間の特性について
 - 危険の疑似体験により認識を高める
 - 具体的な事故を例とした事故原因の特定及び事故防止の行動について
- ②「慌てない、無理しない、しっかり確認」の徹底
 - 毎月の“全体朝礼”、毎日の“部門朝礼”を活用した注意及び指導

年間安全表彰

年間を通じて安全衛生に係る改善・改革等が特に優れ、労働災害の減少を図り他のグループの模範と認められる優れた部門を表彰しています。



事故防止優秀賞

環境部

ドライバー数50名超の部門であるが、事故件数が2年連続で年間5件以下を維持し、一人当たりの事故件数が0.1件を下回った。



事故削減優秀賞

原料部

事故件数が前年と比べて、70%減少した。



事故削減努力賞

秋古工場

事故件数が3年前と比べて、年間4件減少した。



事故削減努力賞

東御営業所

事故件数が3年前と比べて、年間2件減少した。

社員との繋がり

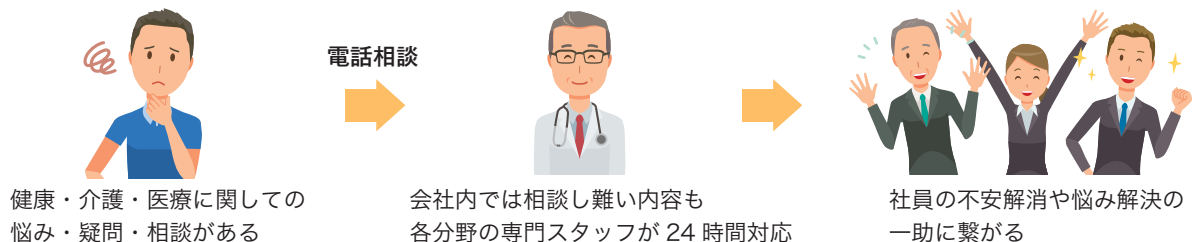
社員の心と身体健康づくり

▶健康づくりチャレンジ宣言

2018年5月に全国健康保険協会 長野支部の「健康づくりチャレンジ宣言」に登録しました。

目的は「事業所全体で健康づくりに取り組む事を宣言・実施する事で、心身共に元気な職場『健康企業』を目指す事」です。社員の健康管理を推進し、より働きやすい環境を整えていきます。

▶健康・医療に関する無料相談サービス



▶病気入院補償制度

福利厚生の一環として病気入院に対する費用補償制度を導入しました。社員が病気入院を余儀なくされた場合に、メンタル面はもちろん費用の面でも会社がサポートします。

▶産業医衛生講話

2018年度は、毎年社員が受診している健康診断において、ガンを早期発見し、医療費及び働けなくなるリスクを最低限に抑えようという内容でした。

弊社では、社員が日々健康で過ごせるよう、健康診断の結果に要検査項目がある社員には、再検査を受けるよう呼びかけています。



2019年1月産業医衛生講話の様子

▶健康保健指導

生活習慣病の予防及び重症化を防ぐ為の生活改善を目的とした、保健指導員による健康相談を実施しています。



▶産業医健康相談

- 長時間勤務者の人
- メンタルも含めて不安な事がある人
- 健康診断の結果についてより深く知りたい人
- ケガ(労災等)からの職場復帰相談



産業医より提出される報告書から、配慮すべき事項の指導を受け、会社として個別の健康管理に役立てています。

女性が活躍出来る環境づくり

▶育児休暇制度

弊社には「社員は家族」という創業当時の教えがあります。経営理念に「社員が物心共に幸福と思える会社とする」を掲げており、社員の重要なライフイベントである出産・育児をサポートすべく、働きやすい職場づくりの為に制度を設けています。育児休暇制度は原則として子が2歳に達するまで休暇を取得でき、現在までに4名(2019年2月現在)が取得しています。性別・年齢問わず多様な人材が活躍でき、休暇取得後も安心して働き続けられる環境づくりをしています。



年間優秀社員表彰

毎年、各分野で活躍する優秀社員へ表彰を行っています。
社員のモチベーションアップを図り、活気のある職場づくりへと繋がります。



最優秀社員
田尻 剛
Takeshi Tajiri

この度、2018年度最優秀社員として表彰していただいた、環境部・田尻です。まさか自分が表彰していただけるとは思っていませんでした。今後はこの表彰に恥じぬよう、無事故無災害&目標達成を目指して「TEAM NAOTOMI」で、業務に励んでいきます。頑張るぞ〜!!ハッスルハッスル!!



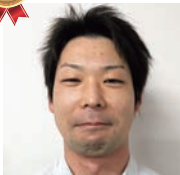
優秀営業



宮崎 浩
Hiroshi Miyazaki



優秀ドライバー



佐藤 周平
Syubei Sato



水野 善巳
Yoshimi Mizuno



松澤 裕典
Hironori Matsuzawa



高橋 勝行
Katsuyuki Takahashi



常田 哲朗
Tetsuro Tokita



金井 忠範
Tadanori Kanai



優秀ヤードマン



山崎 輝樹
Teruki Yamazaki



小池 勇二
Yuji Koike



高橋 成孝
Shigetaka Takahashi



優秀事務員



岡村 弥美
Hiromi Okamura



林部 亜美
Ami Hayashibe



石原 あずさ
Azusa Ishihara

友好会活動

社員親睦会である『友好会』を結成し、社員が主体となって毎年様々な行事を企画運営しています。
2018年度も盛りだくさんの内容で行事が開催されました。
こうした行事では、普段行き会えない遠方の営業所の仲間と交流ができ、コミュニケーションを取る事が出来ます。



(3月・女子会) 女子+少々男子で美味しいお料理をいただきました。

(4月・ソフトボール大会) フレッシュな新入社員も参加し、全4チームのリーグ戦が行われました。スポーツを通して絆が深まりました。



2018年度活動内容

- 3月 | 女子会
- 4月 | ソフトボール&お花見BBQ大会
- 6月 | 社員旅行(全4コース) 美ヶ原温泉/飛騨牛づくし/
古都鎌倉・江の島と横浜/日光東照宮と母畑温泉
- 9月 | 友好会総会・懇親会

- 11月 | ゴルフコンペ
- 12月 | 会社忘年会に協賛
- 2月 | ボウリング大会
- 通年 | エコキャップ回収、
エコターミナル設置(資源物回収)

社会との繋がり

国際交流

2004年、中国河北省石家庄市贊皇県孤山村に“直富希望小学校”を建造寄付しました。それ以来毎年春に希望小の生徒と先生5名前後を日本に招くと共に、夏・冬には弊社社員代表団が訪中する事で、継続的に友好関係を続けています。



希望小の生徒と先生を日本に招いた時の様子。緊張しながらも日本を満喫していました。



社員友好代表団が希望小を訪問した様子。生徒と先生が熱烈歓迎してくれました。



工場見学

近隣住民の方々をはじめ、小学生の社会見学、民間企業や各種団体、行政機関等の皆様を対象とした工場見学を随時行っています。2018年度は、約1,500名の方々に見学していただきました。リサイクルの仕組みや処分技術を学ぶ事が出来る他、適正に処理している事を確認していただけるように工場施設を一般公開しています。ご要望に応じて、地域の学校へ社員を派遣し、環境学習の一助となる『出前授業』も随時開催しています。



地域行事への参加

毎年7月、長野市の無形文化財でもある「大豆島甚句祭り」に直富連として毎年参加しています。あいにくの雨により予定より1日遅れの開催となったものの、多くの社員有志が集まりました。雲を吹き飛ばす勢いで元気に踊り、楽しい思い出ができました。



環境保全懇談会

地元の方々より意見・要望等をお聞きする場として、事業所毎の「環境保全懇談会」を定期的に開催しています。直近1年間の行政報告や今後の事業計画・騒音・振動・水質等の分析データ報告等も行っています。

環境美化

『ボランティア・サポート・プログラム活動』（地域や企業等が実施団体となり、長野市及び国土交通省長野国道事務所が協力して道路清掃及び植樹管理を行い、道路の清掃・緑化・美化に努める活動）に賛同しています。週に一度全社員が社屋周辺の掃き掃除やゴミ拾いを行います。また春と秋の年2回行われる「クリーン作戦」に参加し、地元の皆様と共に道路清掃や側溝・河川のゴミ回収等を行っています。

また、春と秋の年2回、全社の花植えを行う事で環境美化に努めています。



路面清掃車で社屋周辺の道路を清掃しています



国土交通省「ボランティア・サポート・プログラム」活動の一環として秋古工場前の国有地の花壇に花を植えました



環境フェア

長野市ビッグハットで行われた「体験と学びの環境博 信州環境フェア2018」に出展しました。ご来場の多くの皆様と触れ合いながら、環境保全に関わる弊社のサービスについてPRしました。



資源回収

多くの地域・団体様の資源回収に協力させていただきました。資源物(新聞・雑誌・雑紙・ダンボール・飲料パック・古着・ペットボトル・缶・ビン)回収のご要望がありましたら、場所や量の大小に関わらずご相談ください。限りある資源を再利用する為のリサイクル活動を進めています。



地域スポーツへの貢献

長野市の社会人野球チームである『信越硬式野球クラブ』の選手を1名、正社員として雇用しています。

2018年シーズンは、都市対抗野球、日本選手権共に、本大会への出場を果たしました。2019年も都市対抗野球と日本選手権の両全国大会の出場、そして2018年に果たせなかった全国大会での勝利を期待しています。



鐵の木下 直富商事株式会社

本社 / 〒381-0022 長野県長野市大豆島3397番地6

TEL:026-222-1880 FAX:026-222-1881

<http://www.naotomi.co.jp>